

土浦市立小学校適正配置 実施計画策定の経過及び 現状と課題について



井坂正典 議員

質問 小学校適正配置実施計画策定の経緯について、統廃合問題が報道等で話題となつてきていることから、保護者や地域住民の理解を得るという観点から伺います。

教長 平成20年に、県教育委員会から公立小中学校の適正規模についての指針が出され、学識経験者や保護者の代表等で構成する適正配置等検討委員会の提言を受け、その後、市教育委員会では、平成23年に適正配置等基本方針を策定した。

この基本方針の中で、適正規模に満たない6つの小学校の保護者及び地域の方々に対し、延べ28回の説明会を行い、宍塚小については、延べ6回の説明会を実施し、本年2月に、適正配置実施計画を策定した。

この度の宍塚小に係る条例の提案見送りは、再度、地域

の方々などに対して説明の機会を設け、一層の理解をいただくことが必要との判断したものである。

市教育委員会では、宍塚小と土浦小の統合は必要と考えられており、宍塚小の児童が新しい環境に溶け込める配慮や登下校の安全確保の問題等、保護者や地域の方が納得できるように話し合いの場を持つてまいります。

(掲載以外の質問事項)
・キララちゃんバス運行の現状と今後の方針について
・乗合タクシー運行の現状と今後の方針について



地域の安全向上へ「セーフコミュニティ(S・C)」の取 得について



吉田千鶴子議員

質問 セーフコミュニティの認証取得は、さらに

快適で安心・安全な日本一住みやすいまちづくりの原動力になると考えるが、その認識と取組等について伺います。

市長 セーフコミュニティは、事故やけがは偶然の結果ではなく予防できるといふ理念の下、行政と地域住民等の協働により、全ての方が安心して暮らせるまちづくりを進める考え方と認識をしており、本市では、県内随一の組織率を誇る自主防犯組織によるパトロール活動やひとり暮らし高齢者の孤独感の解消を図る愛の定期便事業等、その成果は着実に上がっている。

WHOが提唱しているセーフコミュニティの考え方は、私が進めている安心・安全で日本一住みやすいまちづくりや市民協働のまちづくりの理念と重なる部分はあるが、認証取得自体を目的化してしまふ懸念もあると聞いている。

全国で認証取得している自治体は13と聞いており、再認証を取得しているのは亀岡市のみであることから、まずは、先進自治体の成果や課題について研究してまいりたいと考えている。

(掲載以外の質問事項)

・市民の命を守る道路面下の空洞調について
・非核平和事業「平和使節団」の小学生の参加について

周辺住民が不安と危険を感じている小松一丁目のマンション建設の現状について



竹内 裕 議員

質問 小松一丁目の建造物らしきものについて、所有者との話し合いの内容及び結果や、周辺住民の危険と不安を除去するための本市の対応について伺います。

整備都市部長 建築主側と協議する機会を設け、今後の計画の確認や建物内への出入りができないような対応を依頼してきたところ、工事を再開するための相談や再開したいという話はあったが、完成には至らなかった。

階段に鉄板を溶接するなど対応を確認したが、西側の一部のガラス窓が破壊され、窓越しに容易に入れる状況となつている。

土地や建物の管理は、所有者が適切に維持管理し、周辺住民に迷惑をかけないことが当然であることから、本年1月の土地の所有権の移転登記を受け、現在の土地所有者に対し、敷地内への不法侵入を防ぐ手だてを講じるよう要望した。

現在の土地の所有者は、建物を取り壊したいということもあるようだが、建物が未登記で、所有権が明確でないため、所有者と協議しながら、状況報告とその対応について周辺住民に説明してまいりたいと考えている。

(掲載以外の質問事項)
・公共建築物木材等利用促進法の対応
・合併に関する考え方
・生活保護法改正に伴う対応

